

令和3年度 宇部市男女共同参画推進審議会(第2回) 会議録

〔日時〕 令和4年2月22日(火) 18:00～19:20

〔場所〕 宇部市男女共同参画センター・フォーユー 1階 講習室 (オンラインを併用)

〔出席〕 委員8名 (会場参加 …………… 鍋山, 阿部, 岡崎, 金子, 小森, 原田, 宮下)
(オンライン参加 … 佐伯)

※欠席4名 (石橋, 久保, 境, 山根)

事務局5名 (原田(部長), 水津(次長), 片岡(課長), 林(副課長), 上野(主任))

◆開会挨拶 (市民環境部長)

◆議 題

・会長を議長とし、議事を進行。概要は以下のとおり。

(1)「第4次宇部市男女共同参画基本計画」及び「第2次宇部市配偶者暴力等対策基本計画」の最終案について

・事務局から資料に基づき説明。最終案に対する修正意見や気づき等について意見を伺った。修正や見直しが必要となった部分については、3月市議会(常任委員会)までに調整し、各委員へも適宜報告することとなった。

主な内容

◆第4次宇部市男女共同参画基本計画

◇P.26～ 重点事業の数値目標

・第5章と同様に、基準値と目標値に年度を追加してほしい。

◇P.27 イクメン・カジダンの養成

・「イクメン・カジダン」というフレーズは市の計画書で使用するようなものではない(表現が軽くなってしまう)し、「養成」では市が男性に強要していると思われかねない。「宇部イクメンの会」のように固有名詞として使うなら問題ないが、本当に使う意義があるのか再検討してほしい。

◇P.34 市の審議会等の女性登用率

・基準値が目標値を上回っているのは違和感がある。

→直近の値が50%を下回っていたためこのような表記となったが、その(直近の)値を基準値に置き換えることとなった。

◇P.53 過去2年間に乳がん検診を受けた人の割合

・目標値「22.9%」と小数点以下まで表記してあるのは、他の目標値に比べて細かすぎないか。

→検診率を表す場合、このような表記をするのが一般的だとの意見もあり、このまま変更なしとなった。

◆第2次宇部市配偶者暴力等対策基本計画

◇P.19 右の行為がDVにあたると思う人の割合

・これ以外にも、モラハラなどの精神的なDVも非常に大きな問題となっているので、意識啓発

の観点からもぜひ含めてほしい。

→例えば、数値目標に精神的なものを含める、相談しやすい環境づくりとしてDVセンターの充実にも盛り込む、といった見直しができないか、との意見あり。

◇P.34 DV防止法違反及び他法令(傷害等)による検挙件数

・そもそも検挙などないほうが良いのであって、数値目標として挙げること自体に違和感がある。解決に至った件数など、「安全確保」に使える他の指標を検討してほしい。

◆共通事項

・それぞれの目標値は、何か根拠(エビデンス)があった上で掲げているのか。

→例えば、男性の家事・育児参加などでは、過去の婚姻率から積算して定めているが、これまでの流れや推移から「この辺りまでは目指したい」といった大まかな定め方をしているものもある。(事務局)

・数値目標を掲げて取り組んでいくことは大切だが、その数値だけに目を奪われてしまわないよう留意してほしい。例えば、女性活躍推進企業ではない事業者に対してどう啓発していくか等、幅広い視点で考えていくことが重要だと思う。

・今回の計画では特に言及されていないが、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(女性による性の自己決定権)」についても、ぜひ今後の課題として扱ってほしい。

・アンケート調査が5年ごとになるため、市民意識に基づく検証も5年待たないとできない。(スマホを利用した調査など、)ぜひ中間評価や毎年検証できるような仕組みづくりができないか、検討してほしい。

・完成した計画書は、広く周知してほしい。

→市のウェブサイトで公表するが、概要版も作成し、積極的に活用していきたい。(事務局)

(2)その他(意見交換等)

・事務局から、各種啓発イベント等(①「イクメン・カジダン養成講座」の開催、②宇部市婦人相談員の採用、③男女フォーユアの定期文化講座(R3発表会、R4受講生募集)、④男女フォーユアの女性用トイレ洋式化工事)について紹介。

→「イクメン・カジダン養成講座」の周知が遅かったため、今後は余裕を持った広報活動を心がけたい。(事務局)

・生理用品の無償配布事業について、「わざわざ受け取りに行くというのはハードルが高い。医療機関へも配布できれば、必要な人にもっと行き渡るのでは。」との意見あり。

→今後の検討課題とさせていただきたい。(事務局)

以上